

平成30年度（29年度決算分）高松市事務事業評価表 【事中・事後評価】

総合計画体系	まちづくりの目標	安全で安心して暮らし続けられるまち	評価担当	局名	健康福祉局
	政策	安全で安心して暮らせる社会環境の形成		課(室)名	生活衛生課
	施策	生活衛生の向上		電話番号	087-839-2865
	基本事業	動物譲渡の推進		事業実施主体	市
	事務事業	動物愛護センター整備等事業		事業期間	平成28年度～平成35年度

【事業全体概要】

事業の概要	動物の愛護及び管理に関する法律が改正、平成25年9月から施行され、都道府県や中核市等は引き取った犬や猫について、殺処分がなくなることを目指し、所有者等への返還や譲渡を行うよう努力義務が規定された。全国と比較して殺処分数が多い本市の現状を踏まえ、動物愛護思想の一層の啓発や動物愛護センター等の整備など、殺処分数の減少に向けた取組を行い、人と動物が共生できるまちづくりを目指す。				
30年度概要	ウェブサイト保守・修正 動物愛護センター建設工事、設備整備、開所準備				
重点取組事業	特別重点	市長マニフェスト	4-	事務事業の類型	インフラ・施設等整備


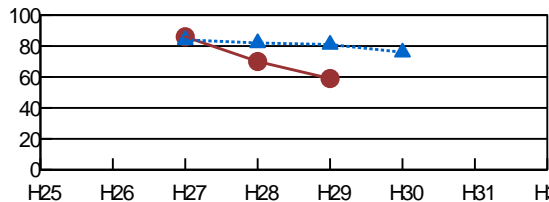

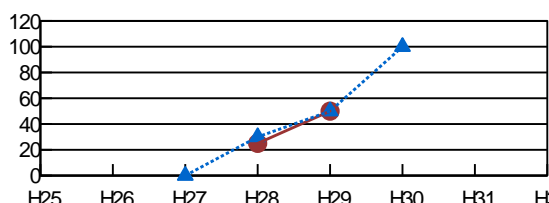
【事業の目的】

対象(何を)	市民
意図(どのような状態にしたいか)	動物愛護思想の普及啓発を行い、保健所における殺処分数を減少させる

【事業の活動】

活動指標名(具体的にどのような活動をしたか)	単位	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
返還・譲渡数	頭		274	346	246	246

【事業の成果】

成果指標名(どのような成果が得られたか)	単位	種別	H27	H28	H29	H30	中期目標H30
殺処分率	%	目標値	84	82	81	76	76
		実績値	86	70	59		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 犬や猫の譲渡・返還数の増加に伴い、徐々にではあるものの、殺処分率は減少している。今後とも、ホームページ等を通じて、動物愛護思想の一層の啓発に努め、殺処分率の減少に取り組む。 		(目標達成度)					(達成度) 127.2% 35点
動物愛護センター整備進捗率	%	目標値	0	30	50	100	100
		実績値		25	50		
成果指標の達成度(目標に対してどれだけ達成できたか) 県と共同で整備を進めている動物愛護センターについては、用地造成工事や基本・実施設計を行い、建設工事を進めている。今後とも、県とともに、早期の供用開始に向け、整備を推進する。 		(目標達成度)					(達成度) 100.0% 35点

【コストの推移】

指標名	単位	平成27年度(決算)	平成28年度(決算)	平成29年度(決算)	平成30年度(予算)
トータルコスト	[千円]	31,838	53,552	67,567	342,041
(事業費)	[千円]	100	19,793	34,943	309,417
(職員人件費)	[千円]	31,738	33,759	32,624	32,624

【評価】

評価ランク (A~D)	A	今後の方向性 (拡充、継続、改善継続、縮小、廃止)	継続
-------------	---	---------------------------	----

【昨年度の実施状況と課題】(評価ランクの結果に対する理由などを分析して記入)

犬や猫の殺処分数の減少に向け、動物愛護思想の普及啓発や返還・譲渡を推進するとともに、動物愛護センター等の整備を積極的に進めていく必要があり、今後とも事業の円滑な推進に努める。

【今後の事業方針】(評価ランクの結果を受けて、上記課題に向けた今後の方針を具体的に記入)

犬や猫の殺処分数の減少に向け、動物愛護思想の普及啓発や返還・譲渡を推進するとともに、動物愛護センター等の整備の円滑な推進に努める。